

議 会 報

ふつさ

No. 17

昭和49年1月15日
 福生市議会事務局
 ☎ 0425-51-1511(代)



新年おめでとうございます

〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

議 副 議
 員 議 長 長

岩	塩	田	宮	大	中	関	末	小	石	森	伊	松	吉	宇	中	川	田	小	小	貫	高	石
		野	村	沢	野	里	次	林	川	田	東	山	岡	佐	會	窪	村	林	林	井	波	川
田	鉄	之	匡	良	行	元	米	性	暢	繁	秀	次	一	良	根	清	市	才	菊	喜	代	信
(議 席 順)	博	助	雄	一	夫	一	吉	男	吉	治	雄	郎	清	三	時	実	一	郎	治	三	次	忠

年頭のあいさつ



議長 石川 信義



副議長 高波 忠

昭和四十九年の年頭にあたりつつしんで新年のごあいさつを申し上げます。

市民のみなさんあけておめでとごさいます。ここに希望あふれた新春を迎えるにあたりみなさまがたのご清福とご繁栄を心からお祈り申し上げます。

私どもは昨年五月の第三回臨時会におきまして凶らずも正副議長の要職につき、その重責を痛感し新たな決意をもちその後微力ながら円滑な議会運営と市政の伸展を期し、誠心誠意懸命の努力を傾注してまいりましたつもりであります。

おかげをもちまして大過なく越年することができました。これも

ひとえに市民各位のご支援とご協力のたまものであると心から感謝の意を表す次第であります。

申すまでもなく政治、経済の動向は一刻も停止することはありませぬ。特に昨年後半からの石油危機による日本経済の変動は直接市民生活にも多大な影響を与え、又生活消費の節約が叫ばれている現今、地方自治体におきましても公共投資の抑制とか建設資材の高とう、不足が大きな社会問題を起しております。

このような厳しい国内事情でありましてわれわれ議会議員の使命をいたしまして、今後市民生活の向上を期するためにいっそう市

街地整備再開発、福祉・教育施設等積極的に拡充を図り、真に住宅商業都市としての基盤を充実すると共に、市民生活に直結する下水道等の生活環境施設を整備し、さらに基地被害に対する市民の要望に真剣にとりくみ、これが解決を図ることはわれわれに課せられた責務であり、関係機関と相まって最大の効果があるよう努力する覚悟でございます。

国内の経済情勢も大変革をよびなくされているなかで、これからの地方自治体は名実ともに内政のななめとなつて豊かな地域社会の建設にとりくみ、昭和四十九年を輝かしい年にしなければならぬと存じますが、議決機関たるわれわれ福生市議会といたしましては、終始公正に四万市民の信託に応え、市政の諸問題を慎重に審議し、市民各位のご期待にそつよう努力する決意でありますので、なにとぞ倍旧のご指導とごべんたつをたまりますようお願いいたします。新年のごあいさつといたします。



提出議案と結果

(第四回定例会)

- 専決処分承認を定めることについて(昭和四十八年度福生市一般会計補正予算(第三号)) 原案承認
- 福生市の一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 原案可決
- 福生市都市公園条例の一部を改正する条例 原案可決
- 福生市国民健康保険条例の一部を改正する条例 原案可決
- 福生市民体育館条例の一部を改正する条例 原案可決
- 福生市福祉会館条例の一部を改正する条例 原案可決
- 福生市民会館条例の一部を改正する条例 原案可決
- 福生市下水道条例 原案可決
- 福生市計画事業福生駅東口土地区画整理事業施行規程を定める条例 賛成多数可決
- 昭和四十八年度福生市一般会計補正予算(第四号) 原案可決
- 昭和四十八年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第一号) 原案可決
- 昭和四十八年度福生市公益質屋会計補正予算(第一号) 原案可決
- 昭和四十八年度福生市福生都市計画事業福生土地区画整理事業会計補正予算(第一号) 原案可決
- 昭和四十七年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について 原案認定
- 昭和四十七年度福生市公益質屋会計決算認定について 原案認定
- 昭和四十七年度福生市計画福生土地区画整理事業会計決算認定について 賛成多数認定
- 昭和四十七年度福生市公共用地会計決算認定について 原案認定
- 市道路線の認定について 原案認定
- 議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 原案可決
- 福生市の一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 原案可決
- 契約締結について(武蔵野幹線排水路新設工事(第一工区)) 原案同意
- 契約締結について(武蔵野幹線排水路新設工事(第二工区)) 原案同意
- 契約締結について(武蔵野幹線排水路新設工事(第三工区)) 原案同意
- 昭和四十八年度における期末手当の割合等の特例に関する条例

第四回定例会

第四回定例会が去る十二月十一日から十二月二十五日までの十五日間にわたって開かれました。

まず十一日には三名の議員により市政全般にわたっての一般質問が長時間活発に行われ、その後市長から提出された議案二十一件、報告一件及び住民から提出された請願三件、陳情五件の審議に入り、そのうち条例五件と報告一件

昭和四十七年度の

一般会計ほか四会計の決算を認定

昭和四十七年度の福生市一般会計ほか特別会計を含む四つの決算認定が提案されました。

これら決算はすでに執行された予算の総しめくりでありまして、福生市の一年間の予算に対するのでき高書でありました。このでき高において反省の予地があつたか、効果はどうであつたか、判断に無理はなかつたかどうか等について審査し、次の年度の予算編成の参考資料にするよう審査をするものです。

今回の決算書も各会計ごとにおける監査委員の審査意見書がつけ

をそれぞれ即決、又委員会において継続審査となつていた陳情が結論づけられたための審査報告がなされ採択と決定し、条例五件、補正予算一件を担当委員会に付託後午後四時四十八分に第一日目を散会しました。

翌十二日には残された十議案と請願三件、陳情四件の審議に入り、質疑の後各担当委員会に付託

し午後二時二十五分に散会いたしました。

第三日目は二十五日に開き、第一日目、第二日目において各委員会に付託され慎重に審議した結果結論が出た議案、請願、陳情の審査報告及び新たに市長から提出された議案五件と陳情の取り下げをそれぞれ原案可決、認定、同意、採択、承認し、今会期中に結論が得られなかつた請願四件、陳情二件をそれぞれ閉会中の継続審査と決定した後午後三時四十分

に第四回定例会を閉会いたしました。

られて提案され、それぞれの所管の委員会に審査を付託し、各委員会で慎重に審査を重ねた結果、決算の内容、予算の執行状況等適正に行われているとの各委員会の報告があり、一部討論がなされた後、これら四会計の決算については原案通り認定されました。

監査委員の審査総括

昭和四十七年度の一般会計及び特別会計の予算総額二十八億九千八百九十五万五千円に対する決算総額は、才入二十八億八千三百七十八万一千八百五十二円、才出

現額に対する比率は九九・四八%、才出二十八億四千九百八十三万七千八百八十三円で、予算現額に対する比率は九八・三一%となつており、才入才出差引き残金三千三百九十四万三千九百六十九円が剰余金として翌年度へ繰り越されている。又一般会計及び特別会計総括決算において、前年度と比較すると予算現額で三二・六一%、才入決算額で二五・八三%、才出決算額では三四・四八%の各伸び率となつており、収支においては適正であると認められた。

昭和47年度会計別決算総括表

(一般会計、水道会計を除く)

会 計 名	決 算 額		残 額 (翌年度繰越)
	才 入	才 出	
国民健康保険特別会計	230,408,537円	223,187,131円	7,221,406円
公益質屋会計	2,699,980	2,512,759	187,221
福生都市計画福生土地 地区画整理事業会計	417,202,916	406,732,706	10,470,210
公共用地会計	3,217,052	3,109,000	108,052
合 計	653,528,485	635,541,596	17,986,889

○昭和四十八年度福生市水道事業
会計補正予算(第二号) 原案可決

○昭和四十七年度福生市一般会計
決算認定について
賛成多数認定

○昭和四十八年度福生市一般会計
補正予算(第五号) 原案可決

昭和47年度一般会計才入才出款別決算表

才入		才出	
78,959万円	市 税	57,943万円	教育費
29,543万円	地方交付税	47,356万円	土木費
28,629万円	国庫支出金	34,134万円	民生費
21,381万円	諸 取 入	30,686万円	総務費
19,296万円	都 支 出 金	20,967万円	衛生費
16,040万円	市 債	11,656万円	消 防 費
11,382万円	国 有 地 所 村 助 成 交 付 金	8,786万円	公 債 費
17,795万円	施 設 可 行 計 画 費	9,901万円	そ の 他
	そ の 他		
才入総額 2,247,245,000円		才出総額 2,214,296,287円	

昭和四十七年度一般会計 決算に対する主な質疑討論

質疑 老人福祉費の扶助費において予備費から流用しているもの、一方では不用額が生じている原因は何か。

答弁 当初予算編成後老人の扶助対象者がふえ予備費から流用したが、その後も増加するものと予想し補正をしたが、結果的には増加

しなかったために不用額が出たが今後注意したい。

質疑 消防施設費の補償費において予算額の半分近くの不用額が出ているが理由は何か。

答弁 防火貯水槽設置の用地に対する補償料であるが、当初坪当り一万円程度で借りる予定であったが、地元の方や関係者のご協力により五千円程度で借りられたことによる不用額である。

質疑 市税関係における未収金の内容についてお聞きしたい。

答弁 本年度の未収金二千七百三十四万四千余円は、税目別でみると市税関係で一千九百八十四万八千余円、固定資産税では四百七十四万八千余円、軽自動車税において百三十六万一千余円、都市計画税で百三十九万四千余円となっており、これら未収金のランクは千円未満が七百八人、千円から五千円が千四百七人、五千円から七千円までが三百二十五人、五万円以上が百八人という内容になっている。

質疑 最近各自治体で市費の超過負担の訴訟問題が出ているが、四十七年度における超過負担ほどの程度になっているか。

答弁 国、都の支出金に伴う超過負担については、国の分が三千七百五万六千円、都の分が四千五百六十九万円となっているが、このうちごみ、し尿に対する振興交付金の中で処理しているものの不足分が市負担として三千四百万円含まれている。

反対討論 本決算は年間予算が真に住民本位の立場で運用され、市民の要望が配慮されてきたかいなかを明確にするものであり、超過負担の問題も解消の努力がみられず、市長や議長の交際費、食料費が多額に支出されむだ使いされている。さらに交通安全協会や防犯協会への支出は警察業務の協力であり支出する理由はない。ごみやし尿、学童保育等委託しているが市民サービスのためには市直営で行うべきもので、又加美平区画整理事業への繰出しは関係住民との問題を解決しないまま多額の支出をし、市民の三〇%が加入している国保会計へは四百万円しか繰出してない。このような点から考え私は反対するものである。

賛成討論 市長や議長の交際費、食料費につきましては、四十七年度における各種事業を推進する上において、特に横田基地をひかえている当市にとりましては最低限の支出であり、理事者側及び議会側等の活動結果は実績として把握できるものと思う。又本決算認定は各三委員会におきまして長時間にわたり慎重に審議がなされた上で結論づけられて報告がされたものであり、本会議においても監査委員から適正である旨の報告がされておられ、私は本決算認定に対して賛成するものであります。

- | | |
|-----|--------------|
| 15日 | 都議長会定例会、防衛庁陳 |
| 14日 | 議会報編集会議、全国議長 |
| 13日 | 多摩衛生組合議会 |
| 12日 | 新市九市議長会 |
| 9日 | 全国議長会理事会、三多摩 |
| 5日 | 厚生委員会行政視察(7日 |
| 11月 | 総務委員会 |
| 31日 | 東京都都市計画地方審議会 |
| 30日 | 地視察 |
| 29日 | 多摩川上流域域下水道促進 |
| 26日 | 協議会視察、横田、立川基 |
| 24日 | 路組合議会 |
| 24日 | 多摩川上流域域下水道促進 |
| 22日 | 路組合議会 |
| 19日 | 青梅、羽村、福生地区下水 |
| 15日 | 路組合議会 |
| 12日 | 路組合議会 |
| 9日 | 路組合議会 |
| 8日 | 路組合議会 |
| 3日 | 路組合議会 |

議 会 日 誌

一
般
質
問

職員の内紀と研修を急げ

質問 十一月中旬国分寺市の職員不祥事件が新聞紙上を賑わしたことがあり、この事は身近かなでき事で見過す事はできない事件と思う。ある新聞は氷山の一角とか又事件の根源は職員の自覚欠如による乱れと指摘している。

そこで公務員として市民サービスを任務としている福生市の職員の規律、職務あるいは執務内容は地方公務員法に規定する信用失墜行為の禁止等住民全体の奉仕者として指摘を受けるような面はないか、仮に当市の職員でささいな事でも耳にした場合は、時を移さず真偽を究明し悪い芽は早目につみ取ることが管理、監督の任にある者の務めであり、自から範を示すかたわら常に部下の日常の行動や執務態度等に注意してほしいと思

う。さらに今後職員の内紀と指導をどのように考え、住民の信頼にこたえる考えであるかお尋ねいたします。

市長 公務員として厳正なる規律と綱紀をもって法にのっとった行動をしなければならぬのは当然であるが、戦後の教育は比較的団体の訓練が薄れ、ご指摘の通り身

もって範を示し教化しなければならぬと思う。特に若い職員に対して自分の仕事は市民にどう効果があり、他の仕事とのつながり方とか、又一つの目標なり結果に対して下から盛り上ってくるような教育をしなければならぬと考えている。現在まで課長会等の場で職員のモラル高揚や仕事に対する意気込みをもたせること、それは各課のチームワークから育てていかなければならないという方針でやってきましたわけである。

国分寺市の不祥事件や石油危機問題等が契機となり、今こそ職員の問題等を契機とし、今こそ職員の教育に力を入れるべき時期と考えている。又現在三年以上の職員に対する教育を二日間実施しており、本年中に中堅職員の教育を行い、来年には相当の覚悟をもって順次教育をしていきたいと考えている。

現場作業員詰所の改善は

質問 市職員の中にも現場作業に黙々といたられている職員が二十人程度おり、臨時職員を除く他の作業員はいつでも地方公務員法に基づき市の職員であります。ところが一般事務職員とは似つかないのが作業員の詰所あるいは控室で

ある。そのことは待遇問題にもつながると思うが、ある詰所は商工会の奥とか旧じん芥処理場のバラック小屋とかいうお粗末な作業員の詰所であり、このようなバラバラとなつて詰所や控室の改善を考えているか。

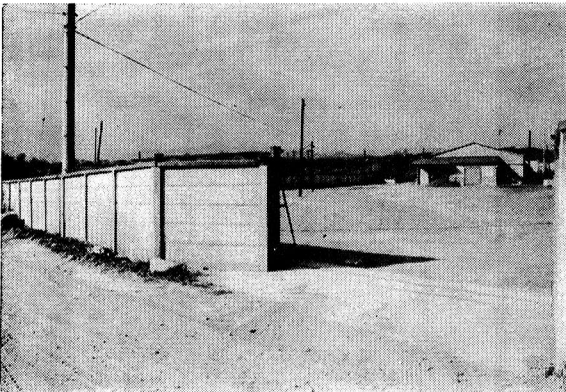
市長 ご指摘の点について反省している。四十九年度予算について担当課長に命じたと思うが、作業員詰所はやはり本庁に近い場所に二か所が適当であり、旧と畜場跡地を衛生関係の詰所にしたと考えている。

旧と畜場跡地利用はその後どうなっているか

質問 昨年三月の定例会においてと畜場閉鎖に伴う問題として、又九月の定例会においてもその跡地利用につきまして一般質問をしまして、その回答では四十八年度に児童公園として都の補助金獲得運動をされている。四十年度も残り少なくなつた現在、その後の状況をお聞きしたいと同時に、既存の建物の一部改修等を行うことによって各種作業用の資材倉庫や作業員詰所等の

センター的施設とすることがより能率的、機動力上からも必要ではないかと思うが、その考え方にしてお聞きしたい。

市長 前回におきまして、と畜場廃止の許可問題から児童公園ということで答弁をしているが、その後都の補助金獲得について運動をして、その際と畜場跡は区画整理中であるため公園の利用度も低いので、昨年に牛浜地区の公園に対して都の補助金をいただきましたが、来年度も利用価値のある上部について都の補助金を獲得するために運動をしていきたいと思う。



旧と畜場あと

(次頁へ)

28日	ご用納め	27日	西多摩農業共済組合議会視察	22日	三多摩上下水(第一委員会)全員協議会、建設委員会協議会、事務局長会議
25日	全員協議会	26日	厚生委員会、厚生委員会と消防団との協議会	21日	議会運営委員会
24日	第四回定例会(第三日目)	25日	狭山火葬場組合議会	20日	総務委員会
23日	第四回定例会	24日	国民健康保険運営協議会	19日	議会運営委員会
22日	合合せ会	23日	一市二町広域行政対策打ち合せ会	18日	総務委員会、建設委員会(18日まで)
21日	建設委員会、委員長会議	20日	東京都都市計画地方審議会	17日	厚生委員会
20日	議会運営委員会、広域行政促進特別委員会	19日	瑞穂町との基地対策正副委員長打合せ会	16日	総務委員会、建設委員会
19日	議長会理事會	18日	立川バス陳情	15日	総務委員会
18日	第四回定例会(第一日目)	17日	全員協議会	14日	第四回定例会(第二日目)
17日	全員協議会	16日	第四回定例会	13日	第四回定例会
16日	第四回定例会	15日	第四回定例会	12日	第四回定例会
15日	第四回定例会	14日	第四回定例会	11日	第四回定例会
14日	第四回定例会	13日	第四回定例会	10日	第四回定例会
13日	第四回定例会	9日	第四回定例会	9日	第四回定例会
12日	第四回定例会	8日	第四回定例会	8日	第四回定例会
11日	第四回定例会	7日	第四回定例会	7日	第四回定例会
10日	第四回定例会	6日	第四回定例会	6日	第四回定例会
9日	第四回定例会	5日	第四回定例会	5日	第四回定例会
8日	第四回定例会	4日	第四回定例会	4日	第四回定例会
7日	第四回定例会	3日	第四回定例会	3日	第四回定例会
6日	第四回定例会	2日	第四回定例会	2日	第四回定例会
5日	第四回定例会	1日	第四回定例会	1日	第四回定例会

として昭和五十年から五十四年の構想として作業を進めており、基本計画の中で今後児童公園にするか機具置場等にしたい方が適當かどうか検討をしていきたいと思う。

市行政理解と市民へのPR活動について

質問 市民が住んでいる市の施設や建設中の経過等を知っていただくとか、又自からの目で見ていただくことは多様化した市政の執行上住民の理解と認識を深め、よりよい理解の上になつた市行政の協力が得られることであると考え。過日一PPTAが作った福生市の文化財を紹介する映画を見て心から感心させられました。郷土福生市の記録、市内全域の公共施設はもろんのこと、昔から伝わっている諸行事等をおりませた福生市を知る映画ができたらと感じましたが、又本年度購入したバスを利用し市民の施設見学等を行ったらどうかと思うが、これらの考えについてお尋ねいたします。

市長 たしかに市の状態について市民に知っていただく、知らせるということは一番大切な事であると思う。しかし印刷物ではなかなか理解していただくことが困難であり知らせることにむずかしさがあるわけで、その反面又知らせることが欠けていることも事実であります。したがって極めてけ

緑地を確保し図書館を建設したら

質問 他価の高さにより公共用地確保が各自自治体とも非常に困難となり重要視されてきているが、その反面市街化区域等における緑地確保が叫ばれてきております。当市においても今なら緑地として保存のできる地域が残っていると思う。例えば牛浜地区に約千八百坪、中福生地区に約二千五百坪の山林、畑地が残されております。

そうした緑地を確保し中央図書館等を建設すれば最適な環境ではないかと思う。地価高とうの現今用地確保難のおりから特段の努力を望むものであるが、その見解をお聞きしたいと思います。

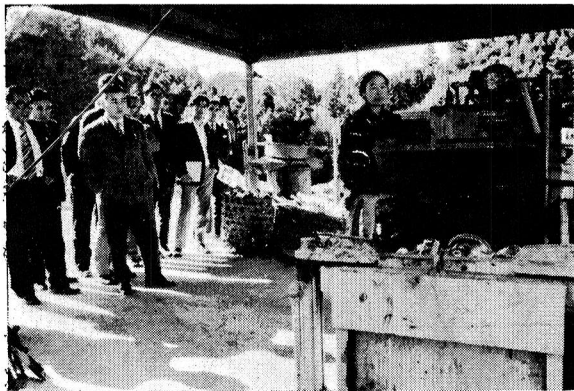
市長 福生市は大きい市に比較し施設も少なく、立派な市にするためには緑地や施設も必要と思えます。しかし教育施設は一日ともおろそかにできないので市行政の上からも最優先的に力を注いで建設してきたわけであり。おかげで本年度も二中、七小の建設も計画通り進んでおりますが、今後体育館やプール等を築造すれば当分新築工事はございませんので、その間緑地確保や各種の施設を造りたいというところで計画を進めてきているが、用地確保を開発公社で行うにしてもいづれは返済しなければならぬという財政上の問題もありませんので、財政の見あう範囲において確保していきたいと思えます。なお中央図書館についてもなるべく早く建設したいわけであるが、お説の通りにできれば大変幸いと思うので是非ご協力をお願いいたします。

生活物資の再利用がごみ減量になると思うが

質問 ごみ処理問題は日々諸先輩が頭を悩ましてきた大きな問題であり今なお解決に頭を痛めているわけであるが、その地域で出たごみはその地域で処理するということから、福生市としてはその処理場もなくこの問題は市民全体で考えていかなければならない問題となつてきていると思つて。

過去国や大企業は消費は美德と国民をおおりにたて、そのため物資に対する価値観に変化をもたらし利用できるものまでごみとして捨てるようになり、年々ごみ量がふえ続けつ

にはごみ戦争といわれるところまで発展してきたと思う。又中東競争に端を発した石油危機からトイレットペーパーや洗剤等消費物資の不足という現今、もともと日本は資源のない国であり、その自覚をするとともにこの際物に対する愛着をもち大切にす精神こそごみ減量対策につながるものと思つが、市長の考えをお聞きしたい。また不燃物処理について、五日市町では一日に五合から八合の不燃物処理を一台二十五万円で業者に回収させているが、当市では一台四十五万円で業者に委託し処理しているが、それも値上げをする



あきかん圧縮機を視察する議員

の話である。独占的産業にならないためにも他の業者を入れ安く処理してもらうことが市民サービスになると思うが、これらの点についてお伺いいたします。

市長 生活様式の変化から大量のごみが出るようになってまいり、最近の石油問題から急激に国の方針も変り今後のごみ問題がどうなるか想像もつかないわけであるが、日本の資源の点も含めあらゆる点について根本から考えなければならぬ時期にきているものと思つ。現在は市内で出たごみはその地区内で処理するという考え方がなくなり、当市にはその処理穴もなく少しでもごみを少なくするために年内にもごみ減量運動の協議会というものを発足させ、市民に対するPR、対策を強力に進めていきたいと思つている。文明が物に片寄りまして精神文明が後退している時代であるので、やはり社会教育、学校教育等が根底をなすものであり必要であると思つ。

環境保全課長 最近におけるごみ戦争は深刻な問題となつており緊急に解決しなければならぬ状態となつている。このごみ戦争の敵はどこかという私ども各々の心がが敵であり、一般市民のご協力がなければごみ戦争に勝つことはできないと思つ。昭和四十一年当時と比較しごみの増加率

(次頁へ)



増加する駅への通勤自転車

は四・三倍にも達しており、今後とも増加が予想されており、このごみ減量運動についての協議会を発足させ、各種団体やPTA等をお願いしこの問題に取り組みたいと思う。又各町会で廃品回収を行っているが好成绩を上げているようであり、ごみ減量に役立っているものと思う。

なお当市では業者一社で処理しているが、これを不燃物と可燃物とに分けて二社にしたらどうかということや、五日市町で行っている破砕機等について今後検討をしていきたいと思う。

通勤用の自転車増加対策は

質問 中近東の石油輸出制限によるわが国のエネルギー不足によって、ガソリンが思うように買えないかなり必然的に自転車が増えてきます。福生市には五か所の駅がありマイホームから駅までの通勤自転車が増近非常に多くなってきました。牛浜駅では道路までみ出し交通の妨害にもなっている現状であり、今後公団住宅の入居とともにますますふえてくるものと思われるがこの対策についてお聞きしたい。

建設課長 現在市内の各駅前約三百台からの自転車が増え、道路交通安全上の問題でもあり、交通安全施設整備事業の一環として実施計画を立て、その設置方法等について検討中であり、福生駅東口の区画整理事業と併せて計画を進め、牛浜駅等については駅周辺という立地条件もあり、用地関係について十分調整をはかり自転車置場の設置につぎまして努力をしていきたいと考えてい

る。

地震の時の飲料水をろ過機で確保する考えは

質問 災害は忘れた頃にやってくるといわれるが、過般も地震時の飲料水確保について一般質問がなされ、その回答は「私有井戸を何か所か確保したい。」とのことであったが、過日新潟地震における井戸水について行政視察地で説明を聞いたが、地震時には水脈が変り役に立たなかったということである。幸い当市には多摩川が流れており市として災害用のろ過機を購入し、災害時の飲料水として役立つ等日頃の準備が大切と思う。又災害時には人心の動揺が大きいというデマが乱れとぶようであるので、市広報をいち早く発行し、さらに一般アマチュア無線の掌握も必要と思うが、これらの点についてお聞きしたい。

諸物価高とうから

公共料金抑制の考えは

質問 市民の生活物資の不足、高とうに石油問題が一層拍車をかけ又各自自治体における建設資材の異常な値上りによって公共事業の延滞等政府も看板を塗り替えしなければならぬところまで深刻化してきている。こうした世情から四十九年度予算編成期にあたり市民の生活を守ることを基本として編成されたいと思う。例えば保育料や使用料等は市の努力によって抑えることができ、又産地直売等も考えて予算編成をすべきであると思ふ。教育費における給食費も物価高とう等から質の低下とか値上げが懸念されているが、その点についてもお聞きしたいと思う。

市長 現在の自治体は財政的な裏付けがないものであり、国や都に補助金とか起債をお願いしなければならぬ状態である。

現在までの経済動向を考え終戦直後の困難な時代を生きてきた者にとって、今までの生活が維持できたということは不可解であり異常であったと思う。四十八年度事業でありまして来年度に繰越すというふうな国の方針も変りつつあり国の予算編成方針が発表されないとはっきりしないが、公共事業は非常に金のかかる事業であって、福生市は財政力のない市ではあるが少しでも担税力のある人がは力を入れていきたいと思う。

学校給食についても都の基準は六百余カローリ、当市は六百五十カローリ以上であり給食費は各市千差万別であるが福生市は低い方があります。今後でもできるだけ上げないよう努力はいたしますが、最近の小麦粉や牛乳等の値上りから絶対には上げないとは申し切れない状況であると思うが、三割自治体にも満たない貧弱な自治体ではあるが、極力値上げ抑制について努力していきたいと思う。又小さいことですが家庭菜園用の土地斡旋に対する予算も今回予算化し直直につぎまして市場側と協議を重ねている段階であります。

常任委員会の審議状況

(第四回定例会)

総務委員会

本委員会は十二月十七日及び二十日の二日間開き本会議において付託された条例の一部改正をはじめ、昭和四十八年度一般会計補正予算第四号及び昭和四十七年度一般会計決算認定のうち才入と才出予算の当委員会所管分、又請願三件陳情二件を審査したわけであり、四十八年度一般会計補正に対し国や都の負担金関係や教育費の七小、三中に対する都補助、又建設進捗状況等各委員から活発な質疑がかわされ、さらに四十七年度決算についても各担当課長から説明を受けた後質疑応答があり、いずれも可決、認定すべきものと決定、続いて請願・陳情の審査に移り、建設主要資材の異状高とに伴う対策に関する陳情書については建設資材不足の現今から近隣の動向を調査し結論を出すべきであるとして、二十日にさらに審査を重ねることとし、そのほかの請願二件、陳情二件を閉会中の継続審査と決定し午後七時に閉会、二十日には建設資材関係の陳情書を審査し、都や八王子市と同様努力すべきとして採択と決定したわけであり、

建設委員会

当委員会は会議室のつごう上福社会館において十二月十七日午前九時三十分より開き、又翌十八日には委員会室に会場を移し二日間にわたって条例関係三件、補正予算関係二件、四十七年度の決算関係三件、市道の認定、廃止二件、請願一件、陳情三件についてまず審議の参考にするため現地視察を行った後審議に入った。十七日には四十七年度一般会計をはじめ区画整理会計、公共用地会計の決算について長時間にわたって各委員から活発な質疑応答があった後、いずれも原案通り認定し午後四時十分閉会いたしました。翌十八日には残された案件を審議いたしました、この内九月定例会において付託された市道四路線を廃止しようとする議案について、過去三回の委員会を開き慎重審議を重ねてきたが、道路上の建築物や国道十六号の拡幅時等を調査すると共に、今後の廃道後の財産処分時において関係者と十分協議願うこととし原案可決と決定した。年末手当の陳情二件を採択し、請願陳情二件を継続とした後、午後二時三十分閉会いたしました。

厚生委員会

十二月十四日午前九時より当委員会に付託された八議案と請願一件について審査を行ったわけであるが、長時間各委員から活発な質疑がかわされた後いずれも可決又は認定されました。この内市民の三〇％が加入している国保会計決算に対しては、最近医療費が上昇年間で九百六十万円の赤字であり、今後医療費が上ると運営も苦しいが、一般会計からの繰入れも四百万円で都下では一番低い方である。極力保険料値上げをしないよう努力したいということ、又公益質屋会計決算においては、一般会計からの繰入れ三十万円を除くと三十八万円の赤字で、最近各市で廃止の方向に進んでいるが当市は利用回転率も良好であり今後の経済情勢等を勘案し様子を見たいということ、さらに九月定例会より継続審査してきた公衆浴場の福祉行政面から援助していただきたいという内容の請願については、紹介議員の説明を受け種々検討をした結果、当委員会としては浴場無料券発行について採択と決定し、午後四時十五分に閉会いたしました。

請願・陳情の結果

採択されたもの

- 請願第六号 公衆浴場の公共性に対する福祉行政面からの補助制度実施方に関する請願書
- 熊田 誠氏 熊川九六六
- 田中留男氏 茂七六
- 島崎ミエ子氏 福生八八七
- 陳情第五号 福生市南東地域会館設置に関する陳情書
- 渋谷治一氏 熊川一七〇二ほか七八九名
- 陳情第八号 民間日雇労働者の年末手当支給に関する陳情書
- 渡辺 仁氏 国立市西二の一六の三
- 陳情第九号 建設主要資材の異状高騰に伴う対策に関する陳情書
- 社団法人東京建設業協会会長戸田順之助氏 中央区八丁堀二の五の一
- 陳情第十号 年末手当等に関する陳情書
- 全日本自由労働組合東京支部福生分会委員長西村秀吉氏 熊川八三〇
- 請願第二号 福生駅東口開発計画に関する請願書
- 和田雄次氏 福生七八〇ほか一〇名
- 請願第七号 地域住民集会所設置に関する請願書
- 小林三郎氏 福生七九八ほか七三九名
- 請願第八号 正月二、三日ならびに祝日の郵便配達廃止に関する請願書

継続審査となったもの

- 小林安宅氏 福生六九一ほか三五名
- 請願第九号 福生市の教育諸条件の改善に関する請願書
- 石川泰一氏 熊川四八
- 武田秀夫氏 青梅市野上町四の八の一三
- 陳情第六号 横田基地前住民地域会館の設置に関する陳情書
- 大久保安男氏 福生二一六二ほか四一八名
- 陳情第七号 市道拡張に関する陳情書
- 枝川栄次氏 熊川一六二〇ほか四九名
- 取り下げとなったもの
- 陳情第二号 私道買収並びに整備に関する陳情書
- 大隅恒雄氏 福生二一六八ほか一七名

議会を傍聴

しましように

次の定例会は
三月に開かれます

編集後記

おめでとございます。
「議会報ぶつさ」第十七号をお届けいたします。今後より充実していきたいと思っておりますので協力下さい。